

=生協講座(7月8日)=
『健康的に痩せる』に参加して



7月8日生協講座の「健康的にやせる」に参加しました。講師は管理栄養士の方が、栄養と運動についてわかりやすく説明してくれました。食生活も運動もむりない程度に『継続して』行うことが大切だと勉強することができました。「1日の塩分摂取量って7gがいいんですね(ラーメンのスープ飲めへんやん)」「1回の運動は頑張れるけど、つづくやろかな?」等等参加された方からの正直な感想。参加者の中には糖尿病の方

もおられ、栄養面で色々質問されてきました。「食事」と「運動」は、元気に暮らすために欠かせないものなので、今回の講座で教わったことを一つでも実践していきたいと思います。(Y)

生協講座のお知らせ



○内容:『歯の健康』

↳口から始める健康づくり、体の健康はまず口から

○日時:令和5年9月9日(土) 14時~15時

○場所:にじの家サロン

○講師:歯科衛生士 宮川様

【参加費は100円】

*参加を希望される方は、

左記まで連絡お願いします。

☎:077(574)8522

(しが健康医療生協事務局)

介護保険利用者負担

1割負担の原則破壊

岸田首相、介護の利用者負担引き上げを前向きに検討する方針を表明「能力のある方に負担して頂く」

介護保険の利用者負担1割の原則を破壊する改悪論議が、厚生労働省で再開。2024年度の制度改革に向け、年末までに結論を出す構えです。

現在、一部の利用者だけに適応されている2割負担の対象を、所得基準引き下げによって大幅に拡大しようとしています。財務省は3割負担の対象者の拡大も主張しています。

「能力のある方に負担をして頂く。これをどこで線を引いて、どこまで負担をお願いするのか。こうした観点に基づいて、今の現状の中で判断をしていく。こうした考え方は当然大事ではないか」と明言した。岸田首相は予算委で

「高齢者の生活への影響を懸念する声もある。今、厳しい生活の中で苦勞されている方、皆に負担をお願いするわけではないが…」と説明。【MEALニュース・Joint編集部】

健康保険証廃止の中止とマイナンバーカード取得の強制に反対します

政府は、2024年秋に保険証廃止の方針を打ち出していますが、健康保険証が廃止となれば、マイナンバーカードを持たない人は、公的保険診療からとうざけられることになり、国民皆保険制度の下で守られている「国民のいのちと健康」が脅かされます。

健康保険証廃止は、事実上のマイナンバーカード取得強制につながります。直近の報道各社の世論調査でも、8割近くの国民が不安視しています。



しが健康医療生活協同組合では、健康保険証廃止の中止とマイナンバーカード取得の強制に反対します。(しが医療生協 社保・平和委員会)